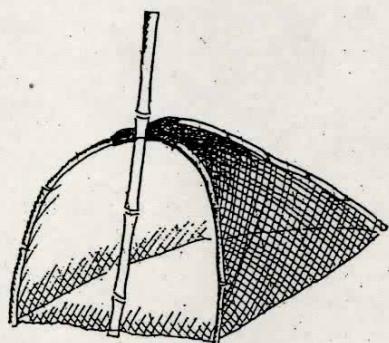
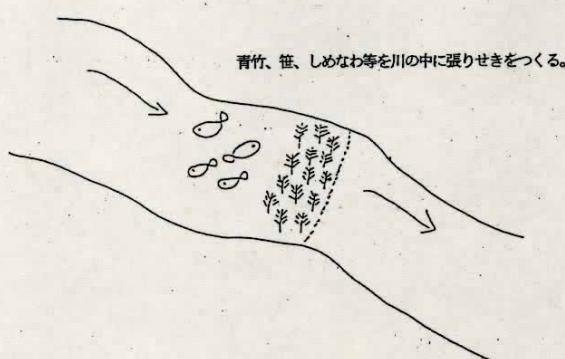


【追さで漁法】



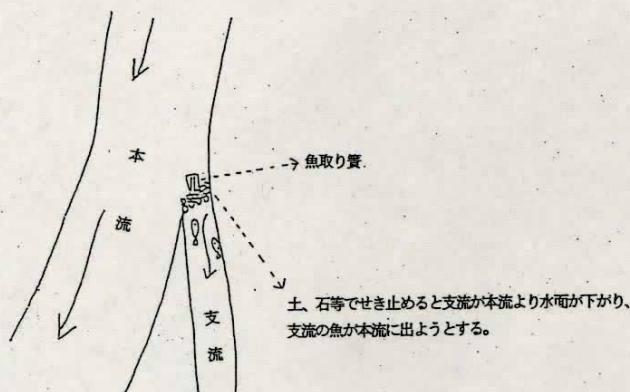
水底に網を保持し一方から竹等で魚を網の中に追い込んで採捕する。

【魚せき】



秋頃、落ちあゆを採捕するために行われるもので、川の中に青竹、笹、しめなわ等多く張っておくと、そこまで落ちてきたあゆは青竹等に恐れて下流に下ることができず、集まっているところを投網等で一挙に採捕する。

【建干】



川の分流しているところで行われるので、支流の上をせき止めると本流より水面が下がり、支流にいた魚があわてて本流に出ようとしてさかのぼり、かまえてある簾に入つて採捕される。